

環境との調和に配慮した事業活動を

環境方針

株式会社ケーアイ・フレッシュアクセスは生鮮農産物の流通分野において、グローバルな生産・流通・販売のパートナーシップを構築し、情報の共有化を図ると同時に、ローコスト化、ローロス化等を実現できる新しい流通システムを提供することにより、豊かな社会づくりに貢献します。

株式会社ケーアイ・フレッシュアクセスは環境問題への対応を経営方針の最重要課題のひとつと認識し、食の安全性、信頼性の追求と環境との調和に配慮した事業活動を推進していきます。

基本方針

当社は、当社の全ての企業活動が環境に影響を与えていることを自覚し、地域環境並びに地球環境の保全に貢献するとともに、循環型社会のしくみに貢献する為、下記の基本方針を定め、環境汚染の予防、及び環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。

① 資源・エネルギーの効率的利用

資源・エネルギーを効率的に利用し、事業活動に伴う環境への影響を最小限に抑え、限りある地球資源の保全、及び環境汚染の予防に努めます。

② 循環型社会への貢献

グリーン調達や廃棄物発生抑制及び有効利用に積極的に取組み、循環型経済社会の実現に寄与します。

③ 環境マネジメントシステムの質的向上と継続的改善

当社のみならず、取引先やお客様と間接的な関わりを環境マネジメントシステムの中に反映させ、システムの質的向上及び維持向上に努めます。

④ 企業責任の遂行と社会への貢献

環境に配慮した商品やサービスの提案・提供を通じて、お客様や地域社会の環境保全活動に寄与するよう努めます。

⑤ 環境意識の向上

社内啓蒙活動や環境教育を通じ、環境に対する社員の意識向上に努めます。

⑥ 法の遵守

環境リスク保全のため、法令及び事業所所在地に適用される条例及び協定を遵守し、利害関係者の見解に配慮して事業を展開します。

2007年度 環境活動実績一覧

2007年度 環境目標	主な活動内容	目標値	実績
廃棄ロス抑制/ 販売計画数量の精度向上	<ul style="list-style-type: none"> ムダのない仕入を目指し、販売計画数量と販売実績数量の差異検証（現状調査）及び改善を実施 商品販売計画数量入力用の新システム構築 	新システムの使用を全得意先に拡大する。 （対象商品：バナナ）	新システム構築及び見直し、導入準備差異検証による販売計画数量精度低下要因の抽出
資源の有効利用/ 木製パレット回収率の向上	<ul style="list-style-type: none"> 輸送時に使用する木製パレットの回収率を高めることでの再利用の推進 関係各社との木製パレット回収ルールづくり 	木製パレット回収状況の現状把握 関係各社との回収体制づくり	回収率低下要因の抽出 関係各社との定期的な会議の実施
作業効率化/ 文書管理の見直し 社内文書の電子化	<ul style="list-style-type: none"> 管理方法見直し対象文書の検討と決定 文書管理ルールの見直し 取引先別ファイル作成と文書の仕分 新管理表構成の検討と作成 	文書のファイリング方法変更 新管理表運用	新しい文書管理ルールによる文書のファイリングが終了
安心・安全な商品の提供/ 環境配慮型商品の取扱拡大 サービスレベルの向上	<ul style="list-style-type: none"> 社内のネットワーク環境調査 社内文書電子化に向けたセキュリティ強化システムの設計 	電子化に向けたセキュリティ強化システムの構築	セキュリティ強化システム構築準備
	<ul style="list-style-type: none"> オーガニックキウイの販売数量拡大 	10万トレー	13万6,226トレー
	<ul style="list-style-type: none"> 使用する農業や生産過程の把握等生産管理のされた青果物の販売数量拡大 使用農業や生産過程を管理する生産管理基準の生産地への導入支援 サービスセンターにおける当社の商品管理基準に基づく月次自主点検と改善活動 	取引先自主基準に適合した玉葱の売上実績を06年対比150%達成	売上実績06年対比192%達成 （売上ケース数93,482）
生産管理基準運用までの産地支援と1品目の商品化	環境配慮型としての商品化は見送り	基準適合率 85%以上	基準適合率 サービスセンター全部門平均88.5%
循環型社会への貢献/ 食品廃棄物 リサイクル率の向上	<ul style="list-style-type: none"> 食品廃棄物排出量の実績集計と検証 食品リサイクル法改正内容の調査と情報収集 	食品廃棄物排出状況の現状把握 リサイクル推進のための対策立案	2007年度全社食品廃棄物リサイクル率19.9% 対策立案は2008年度実施

環境保全活動の事例

▶ オーガニックキウイの拡販

オーガニックキウイは化学肥料を使わない果実です。そのため生産地の環境に優しく、食べる人の身体にも優しいというメリットがあります。こうした自然環境を配慮した商品を拡販していこうというのも、活動目標のひとつ。各拠点が総力を挙げて取り組んでいます。



▶ エアコン温度の環境設定

CO₂排出抑制は、いまや地球を挙げての課題です。消費電力を抑制するために、夏場はエアコンの温度を26℃に、冬場は24℃以下に設定し、「クールビズ」「ウォームビズ」を励行しています。



▶ 木製パレット回収率の向上

産地から納品先に運ばれた使用済みの木製パレットを回収、繰り返し利用し、循環サイクルを確立することで、木材の有効活用を目指しています。



▶ サービスセンターの作業生産性向上

サービスセンター業務におけるPDCAサイクルによる作業効率の向上、また、的確な物量予測により生産性の向上を図り、電力エネルギーの効率的な利用を目指しています。

